

## マイロック設置事例 ～エントランスオートロック特集

賃貸物件のセキュリティ向上の目的として、各戸玄関へのマイロック設置がますます増加していく中、エントランスに設置する事例も増えています。エントランスオートロックは現在でも入居者からのニーズが高く、また設置されていて当然の設備とさえ言われています。

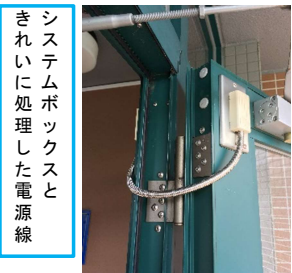
今はインターネットで部屋探しをするケースが多いため、エントランスにオートロックが設置されていないと検索に引っ掛かることがなく、部屋探しの候補にも上がらないという事も起き、空室対策にオートロックは非常に効果的と言えます。

ただし、新築や戸数の多い物件であれば設置費用の回収も見込めますが、築年数が古い物件や戸数の少ないアパートでは思うような費用対効果が望めない場合もあります。そうした問題をマイロックを活用したセキュラのエントランスオートロックシステムが解決してくれます。後付け可能で、施工もほぼ一日で完了するシンプルな構造によりコストを抑えたシステムで、設置依頼が増加しています。今回はそのエントランス設置事例を紹介します。

### 設置事例① 三重県四日市市



エントランスのマイロックと宅配ボックス。  
ICカードでも暗証番号でも解錠可能です。  
入居者の利便性が高まり、物件の差別化につながります。



システムボックスと電源線  
きれいに処理した

三重県四日市市の全9戸のファミリー向けの物件です。  
エントランスにマイロックを設置し、暗証番号もしくはICカードで入館ができるようにしました。  
来訪がある時には、室内からは無線遠隔操作で解錠することができるセキュラのオートロックシステムです。

エントランスでは施解錠の使用頻度が高まる為、電池式ではなく**100V仕様に変更**しました。電源が無かったものの、近くの配電盤より配線を繋げ、見た目もきれいに仕上げました。  
またこちらのエントランス扉のすぐそばには**宅配ボックス**も設置しました。  
**一枚のICカードでエントランスも宅配ボックスも開ける事ができます。**  
セキュリティ性・利便性の両方を向上させるシステムが一瞬にして出来上がりました。

### 設置事例② 東京都台東区

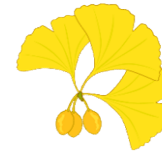
東京都台東区の浅草にある全10戸の単身向けの物件です。  
下町にある築年数の古い物件ですが、周りには家や飲食店も多い為、夜になると人通りが増えてきます。

近所に不審者も出たという情報があり、オーナー様より物件の防犯性を向上させたいとのご要望から、建物入口にマイロックのオートロックシステムを導入しました。

こちらの物件は、屋根やひさしが無い為、**テンキーおよび室内側本体部は防水仕様**となっています。また、**解錠ボタンを増設**して解錠操作をわかりやすくしています。



防水仕様にした為、雨が降っても大丈夫です。  
室内側本体部はステンレスボックスで保護することにより、防水効果と同時にイタズラ防止にも役立ちます。



## 設置事例③ 東京都大田区

東京都大田区に建築された全8戸の単身向けアパートです。  
新築の物件ながら、オーナー様よりコスト低減を相談されセキュラのオートロックシステムを提案しました。

コストを抑える事ができたのと同時にリース契約の活用が導入の決め手となりました。

**リース期間と同じ期間、アフター保証がつくセキュラのリース**は業界でも類を見ないものです。

設置後も安心して使って頂けると好評を頂いております。



インターホンの横にカード型リモコンを設置。  
来客時にはこのリモコンを使用してエントランスを解錠することができます。

防犯対策は賃貸斡旋時のアピールとなるだけでなく、現在、お住まいの入居者様がより長く入居していただくことにも繋がります。オーナー様にとっても今後ますます必要となってくる設備といえます。

また、セキュラのオートロックシステムは乾電池を非常時の予備電源とする100V仕様・防水仕様・解錠ボタン増設仕様など、**物件やオーナー様のご意向にあわせたカスタマイズや、リースの導入**など様々な観点からオーナー様のニーズに対応するオートロックサービスの提案を実施しています。

## 設置事例④ 福岡県福岡市



前回紹介した、大和ハウスリフォーム様とのタイアップ企画の第2弾です。  
1階はオーナー様ご自宅、2階が賃貸となっています。  
これまで2階通路は誰でも立ち入ることができたのですが、今回物件に合わせて門扉を設置し、そこにマイロックと集合機を設置してセキュリティを強化しました。

## 今月の言葉 【One for All, All for One】

現在、日本でラグビーのワールドカップが開催されています。選手全員で勝利という目的のために体を張ったプレイをする姿は大変感動します。

ところで、ラグビーというと「One for All, All for One」という言葉が有名ですが、「一人はみんなのために、みんなは一人のために」と覚えている方が多いのではないのでしょうか？

しかしながら、ラグビー元日本代表の選手、監督を務めた故・平尾誠二氏は「**一人はみんなのために、みんなは勝利**（一つの目的）**のために**」と解釈しています。

「チームプレイの素晴らしいところは、1+1が3にも5にもなる相乗効果が発揮される場所である。しかし、それには前提条件があり、各々が勝利に向かって自分の足で立ち、他のメンバーに甘えたり寄り掛かったりしない、一人ひとりが自立した大人の集団であることが必須である。」と言っています。

このことは会社組織にも当てはまると思います。助け合うことも時には必要ですが、全員が互いに助けられるのを待っていたのでは成果は期待できません。一人ひとりが責任感をしっかり持って自分の役割を全力で果すことが最も重要であり、その積み重ねが組織の目標達成へとつながると言えるのではないのでしょうか。

一人前以上のプロフェッショナルになって初めてメンバーをカバーしたり、あるいは相乗効果も生まれるのだと思います。

まずは自分の足で勝利へと向かって立つ。そして相乗効果を発揮して勝利（目標達成）をつかむ。

ラグビーの精神からは、ビジネスの世界においても教えられる点がたくさんあります。